

# 温室効果ガス削減「見える化」実証の流れ

## 栽培データ取得・計算

### <今年度の試算の流れ>

算定意向が有る生産者より、栽培データを入手。その県又は地方の通常の栽培と比較した相対削減率を算定。

### <使用する栽培データ>

(以下のうち入手可能なもののみ。)

入手不可の内容については標準値を使用)

- 収穫量、収穫面積
- 生産残渣の取扱(すき込みか焼却か)
- (水田のみ)中干しの状況、秋耕
- バイオ炭(種類と施用量)
- 緑肥の種類
- 草生栽培
- 農薬、肥料、堆肥:使用量
- ハウス:サイズと素材
- マルチ:使用量
- 燃料・電力:消費量



温室効果ガス  
**-10%**  
達成!

## ラベル表示(自己宣言)

削減率に応じて星の数が決定

(令和4年度の場合:-5%以上で★1つ、-10%以上で★2つ、-20%以上で★3つ)

生産者が指定する販売協力先において、ラベルとともに、削減達成の理由(栽培方法)を商品や、店頭・広告に表示する。

### イメージ (チラシ)

トマト  
600g

栽培期間中化学農薬5割削減、木質バイオマスボイラーを使用することで温室効果ガス排出量が削減されています。

580円

温室効果ガス削減

### イメージ (店頭)



### <表示説明案>

温室効果ガス削減

栽培期間中化学農薬5割削減、木質バイオマスボイラーを使用することで温室効果ガス排出量が削減されています。

QR

## 測定・検証 (認知度変化等の記録)

ラベル表示の効果についてアンケートにより検証

### <検証内容>

認知の有無、  
ラベル表示についての印象  
(商品・販売店舗)  
購入の有無、  
今後の購入意思の有無

店舗ごとにデータを収集し、効果的な表示方法等について検討。

